

## 18 山田 知美 さん Tomomi Yamada

起

北勢

特定非営利活動法人 三重はぐくみサポート(四日市市) 理事長  
55 カフェ (四日市市) 代表

事業所  
特定非営利活動法人 三重はぐくみサポート  
住所：三重県四日市市大矢知町930-1 ツインコート大矢知 205  
URL：http://kodomo55.jp 社員数：10名  
55 カフェ  
住所：三重県四日市市富州原町 2-40  
イオンモール四日市北レンガ棟前 社員数：14名

### 業種

子ども食堂の運営・子ども  
の貧困支援・女性活躍推進  
飲食店経営



### Profile

- ・主婦から起業し『55 カフェ』を開業
- ・離婚を機に我が子との夕食が困難に
- ・2016年から“子ども食堂”を開始
- ・“孤食”と“子育て”の両問題に立ち向かう

### 講演・相談可能分野

- 仕事と家庭の両立 育ボス
- 人材育成 障がい者雇用 起業
- NPO 設立 多文化共生
- 地域資源活用 防災
- その他 (子どもの貧困問題)

### 講演実績

- ・2016年 子育て世代のための創業セミナー「主婦からの起業」(松阪市商工会議所)
- ・2016年 女性の創業セミナー「創業体験談」(四日市市商工会議所)
- ・2018年 「子どもの貧困を考えるシンポジウム～支援者の集い～」パネリスト (三重県)

## 「私の使命」

### 経営するカフェで栄養満点の夕食を

地域の子育て支援策として、全国的に広がりを見せる“子ども食堂”。山田さんは自らが経営する『55 カフェ』で、2016年より『四日市子ども食堂 55』を始めました。

開催日は毎月第2水曜の夕方、参加費は子ども無料、大人は500円の材料費(予約制)。メニューはプロのカフェスタッフが手がける、栄養満点の定食です。2018年9月で開催は26回になりました。「カフェでの開催、それもショッピングモールの一角にあるので『安心して利用できる』との声をいただいています」。当初は全額山田さんの自己負担で運営していましたが、現在は数々の支援が寄せられるように。カフェのレジ横に設置した募金箱には、毎月2万円近い募金が集まるといいます。

### 「私も困窮をひた隠しにした」経験者

子ども食堂を始めた背景には、山田さん自身が以前、我が子にひっそりと“孤食”させていた事情がありました。「カフェ経営が苦しかった時に離婚しました。経済的にも、精神的にも、肉体的にも厳しかったです。でも我が家の困窮ぶりは、絶対に誰にも知られなくなかった」。

現代では子どもの貧困が表面化しないことを、山田さんは身をもって理解します。「孤独でした。働く1人親は、親子共々地域行事に参加できず、情報が得られません。それでますます孤立します」。

山田さんの子ども食堂では、親同士の情報交換や、子どもの野外体験なども応援しています。2017年からは、夏に河原でバーベキューする体験を、子ども達にプレゼントしています。

## 私流リーダーシップ

### 個人情報への壁。要支援者と繋がる難しさ

「現代の子は7人に1人が貧困と言われています。特に母子世帯の貧困率は66%というデータも。しかし子どもを見ても貧困は分かりません。綺麗な服を着て外出し、帰宅後は家にこもっているのです」。一時は子ども食堂開催の、大々的な告知を試みてみたものの、結果は芳しくなかったと山田さんは分析します。

「届けたい人に届かず、もどかしいのが率直な感想です。また、行政との連携は、個人情報の壁に阻まれ難しい」。そこで山田さんは、もっと気軽に参加できる『おやこ食堂 55 (予約不要)』を毎月第4水曜日に開くことに。さらに1人親を対象にした料理教室も開催。「参加者のうち1人でも要支援者に辿り着けたらいいなと思います」。

### “小さな輪”と“単独開催”で継続を目指す

山田さんの『四日市子ども食堂 55』は“小さな輪”と“単独での運営”を大切にしています。「カフェの空き時間を見計らい、スタッフと一緒に子ども食堂の支度をしています。効率最優先で、この形になりました」。そんな山田さんの方針に理解を寄せる地域の人々が、食堂開催日になると集まります。

例えば子育てを終えたプラチナ世代や、山田さんと同じ子育て世代の協力者たちが、子守役としてサポートを買って出ます。また近隣の食品製造業者などが、当日必要な食材を差し入れてくれます。「各々無理をしない範囲で、と呼びかけています。長く続けたいから」。第1回目の時と同様に、何の支援が無くても開催し続けたいと意気込みます。

(取材時：2018年8月)

### こんな講演・相談に対応できます

- 現代特有の“子どもの貧困”解説
- 働く1人親の子ども孤食事情
- 子ども食堂の運営について
- 飲食店向けの新メニュー開発

### お問い合わせ先

三重県 ダイバーシティ社会推進課

TEL：059-224-2225

WEB：http://www.pref.mie.lg.jp/katsuyaku/index.htm

WEBは  
ここから

